

# 日々雇用職員(婦人相談員)募集

## 雇用期間

平成23年1月4日～3月31日

※勤務成績が良好な場合、雇用期間の更新あり。

■そのほか/賃金以外に手当の支給はありません。

■申込方法/次の書類をそろえて、郵送するか持参ください。

- (1)市販の履歴書(顔写真貼付)
- (2)経歴履歴(様式は任意)

## 申込期間

11月15日(月)～25日(木)

(当日消印有効)

## 選考方法/面接

【面接予定日:11月29日(月)】  
※面接日は申し込み後に電話で連絡します。



### ◎申し込み・問い合わせ

〒840-8501 佐賀市栄町1番1号  
佐賀市役所 子育て課(本庁1階)  
子育てコーディネイト係  
☎40-7289

| 業務名および募集人員    | 主な業務の内容                          | 資格・免許等の条件<br>(雇用までに取得見込みでも可)          | 基本的な勤務形態                                 | 主な勤務場所 | 22年度賃金月額 |
|---------------|----------------------------------|---------------------------------------|--|--------|----------|
| 婦人相談員<br>(1人) | 生活の環境上、保護を必要とする女性への情報提供、相談および指導等 | 婦人保護業務の経験または相談業務の経験を有する人<br>※要普通自動車免許 | 月～金<br>8時30分～17時のうち<br>1日6時間勤務<br>(シフト制) | こども課   | 5,436円   |

# 収穫祭「芋掘り体験」参加者募集!

農業や環境にやさしい農作物栽培を理解するため実施している「ほんなもんぼ体験学校」が、収穫祭を迎えます。多くの皆さんと収穫の喜びを分かちあうため参加者を追加で募集します。一緒に収穫を楽しみましょう!参加者には、収穫したイモのプレゼントもあります。

■日時/11月21日(日)9時～11時ごろ

■内容/サツマイモ・里イモ収穫体験、新米おにぎり・フタ汁ふるまひ

■参加費/大人1人 2,000円  
(同伴子ども3人まで無料)

■場所/受付後、連絡します。

## 申込方法

はがき、ファクス、電子メールで、「収穫祭参加希望」と書き、参加者全員

の氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号を明記して送付

ください。

## 募集期限

11月19日(金)

## 体験受入・指導

NPO法人元気・勇気・活気の会

### ◎申し込み・問い合わせ

〒840-8501 佐賀市栄町1番1号  
佐賀市役所 農業振興課  
地産地消推進係  
☎40-7116 FAX 40-7391  
✉nogyoshinko@city.saga.lg.jp

# 堆肥を無料配布しています

佐賀市下水浄化センター内の(株)S&K佐賀では、センターの下水汚泥から製造した堆肥の無料配布をしています。



■配布期間/平成23年3月末日まで  
月曜～金曜(祝日を除く)  
13時～16時30分

■場所/佐賀市下水浄化センター内  
(株)S&K佐賀(西与賀町大字高太郎)

■配布対象/主に、佐賀市下水浄化センター近隣の皆さんを対象とします。数量に余裕がある範囲内で、市民の皆さんにも提供します。

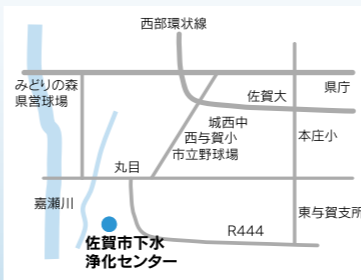
■配布要領/800kgおよび350kg必要なのは、配布時間および数量の確認などが必要で、事前に連絡ください。

(1)800kg フレコン袋で用意します。

(2)350kg フレコン袋で用意します。

(3)少量(15kg以下) 各自袋を持参し、各自つめてください。

(事前の連絡は不要です)



### ◎申し込み・問い合わせ

(株)S&K佐賀  
☎27-3510 FAX 28-6280

# 第4回 桶の杜手づくり市 出展者募集

大好評の手づくり市を開催します。昨年度は全国から出展者が集まりました。今年度もたくさんのお応募お待ちしております。

■開催日時/平成23年3月19日(土)・20日(日)10時～

■場所/龍造寺八幡宮(白山)

■応募数/50枠(応募者多数の場合、選考会により決定)

■申込書に、作品3点の写真と、作品およびご自身の活動に関する説明文を添付して応募ください。

■参加費/3,000円(テントレンタルは別途5,000円必要)

■申込期限/12月10日(金)必着

### ◎申し込み・問い合わせ

〒840-0826 佐賀市白山二丁目7番1号  
NPO法人まちづくり機構  
ユマニテさが  
☎22-7341  
FAX 22-7346

# 街角リポーターだより 先生戻ってきて

服巻 恵代



先日テレビを観ていましたら、ある教師の物語があつていました。それはスキー場でスピードの出過ぎてバランスを失い転倒して、事故にあつてしまわれた話でした。命は取り留めたものの医師からは一生寝たきりの生活しか出来ないと告げられました。希望を失い死ぬことを考える日々でしたが、生徒たちは先生の事を思い、もう一度クラスに戻って来てほしいとの想いで寄せ書きや手紙などで先生の回復を願つておりました。クラスの生徒たちが待つてくれているのだ、その気持ちに答えよう、先生は毎日血の出るような壮絶なリハビリを続けられたのです。

身体で自分の力で歩けるようになられ、医師から奇跡だといわれるほど回復し、学校に復帰する事ができました。生徒たちは先生を待つてくれていました。今まで励まし支えてくれた生徒たちそして周りの人たちへの感謝の想いに先生の目からありがたみの涙が溢れ出ました。卒業の日を迎え、去つて行く生徒たちに先生は教師でなく一人の人間としてどうしても残しておきたい言葉がありました。重大事故にあい死を考えた孤独と絶望中でひしひしと思われたのです。人は一人では生きてはいけません。周りの支えによって生かされている。だから人は人のために生きて行かなければならない事を。

そして五つの誓いの言葉を告げられました。

- ①口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
- ②耳は人の言葉を最後まで聞いてあげるために使おう
- ③目は人の良い所を見るために使おう
- ④手足は人を助けるために使おう
- ⑤心は人の痛みがわかるために使おう

さつぱつとした現代社会は、人間を尊重するといつ思いやり、やさしさなど大切な心が置きざりにされていき悲しい事です。

先生からの生徒たちがこれから厳しい人生を生きぬいていくための愛の言葉を励まし言葉と私は思いました。人生残り少なくなり、さつぱつぱつは自信がありませんが先生の言葉に近い生き方が出来るようにそんな私になれますように努力しようと思つてます。

# あなたの人権わたしの人権 ハート・プラスマークについて

「ハート・プラスマーク」をご存知ですか。

車いすをデザイン化した障がい者のマークは、すべての障がい者の国際シンボルマークとして、駐車場や交通機関、公共の建物などでよく見かけます。しかし、心臓や腎臓、呼吸器など身体の内部に障がいのある「内部障がい者・内臓疾患者」の人たちの「願い」は、その障がいが見えにくいために、なかなか理解してもらえません。電車などでは、「携帯電話の電源を切ってください」という車内放送が流れます。携帯電話の電波は、心臓のペースメーカーに悪影響を与えます。このことは多くの人に認知されてきているようです。

問題は、理解しているにもかかわらず、携帯電話の電源を切らない人が多いということでもあります。優先座席もそうです。特別シートを設けなくても、席の譲り合いがごくごく自然にされる社会こそが、「一人にやさしい社会、ぬくもりを感じ合える社会」なのだと思います。

ハート・プラスの人たちも同じだと思います。「このマークの人には配慮をお願いしたい」と訴えていらつしやるのです。街で、乗り物で、このマークを見かけたら、あなたはどの行動しますか?「言われたから…」ではなく、「わたしの生きる姿として」の行動を起こしたいのです。

(社会同和教育指導員・内田)



ハート・プラスマークのデザイン

### ◎問い合わせ

人権・同和政策課  
人権啓発係  
(ほほえみ館内)  
☎40-7367  
FAX 34-4549